

What's New From ASCIKU

関西大学科学技術振興会 No.32 October 2011

第3回研究会（企業見学会）を開催 10月7日（金）

第3回研究会として、株式会社紀和マシナリー様および株式会社タカキタ様のご協力を賜り、企業見学会を開催いたしました。当日は38名の方が参加されました。見学会は、それぞれ講演会および施設見学を行い、参加された会員の方々は熱心に耳を傾けておられました。

1 株式会社 紀和マシナリー

株式会社紀和マシナリーは、本振興会会長である紀和隆氏が会長を務める従業員約70名の工作機械メーカーで、1869(明治2)年の創業以来、旋盤やボール盤、タレットNCボール盤などの開発・製品化をされ、現在では、工作機械の主力商品であるマシニングセンタに独自のハイブリッドガイドを設けることなどで技術を差別化して、大手メーカーが強い本分野で着実に地歩を築いておられます。バスで到着するとすぐ同社の多くの従業員の方々に迎えられ、会社概要のご説明を受けたあと、工場内を見学させていただきました。ロボットと組み合わせた5軸立形マシニングセンタや横形マシニングセンタのすばやい動き見ることが出来、同社の技術力の高さに触れることができました。



紀和会長

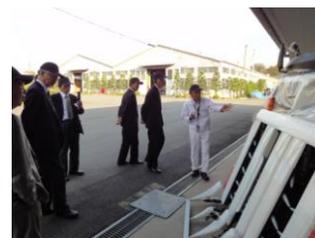


2 株式会社 タカキタ

株式会社タカキタは、最初に訪問した株式会社紀和マシナリーのすぐそばの名張工業団地にある従業員約260名の農業機械メーカーで、1912(明治45)年創業の歴史の長い会社です。同社の若山東男会長が関西大学の卒業生という関係もあり、日本で大きく変わろうとしている農業の問題点とその解消のための自社農業機械の開発に関し講演いただきました。皆さんよくご存知の通り、日本の農業は小規模であるがゆえに、外国と比べてコスト高になっており、その結果自給率が低いという困難に直面しています。同社は、国産飼料の自給率向上のためにエサ用とうもろこしやエサ用稲を収穫してロール状に巻く装置である細断型ロールベアラを世界初の独自技術で製品化に成功されました。ロールベアラの威力は抜群で、省力化のみならず長期保存を可能にするなどエサの品質向上を達成し、牛のエサ代の削減や受胎率の向上に寄与したとのこと。農家の人から、良い農業機械を開発してくれて大変助かっているとの話を聞くと、開発者として非常にうれしく思うと話され、強い感銘を受ける講演でした。講演のあと、広い敷地にある農業機械の製造現場を見学させていただきました。



若山会長



3 交流会

工場見学終了後、株式会社紀和マシナリー様のご配慮により、赤目温泉「対泉閣」にて交流会を開催しました。この場をお借りして感謝を申し上げます。

アンケート集計結果

今回は16件の回答を得ました。その中で、研究会（企業見学会）の内容については、参加者全員が「参考になった」「やや参考になった」との回答でした。また、「理解しやすかった」「やや理解しやすかった」「長さも適当」との回答が同じく全員から得られました。関心のある分野については、「医療・福祉」が一番多く、次いで「機械・メカトロニクス」「環境・エネルギー」「ものづくり・加工」の回答がありました。

これらの結果を、今後の研究会活動及び企業見学会において活用するよう努めてまいりますので、ご支援・ご協力のほどよろしく願いたします。

お知らせ

先端科学技術推進機構の研究員の先生方による研究成果が次々とマスメディアで取り上げられました。

システム理工学部 田實 佳郎 教授が、株式会社村田製作所と高透明度有機圧電フィルムを用いたセンサデバイスの開発について共同記者発表をしました。



先日、関西大学（システム理工学部 田實 佳郎 教授）と株式会社村田製作所は、高透明度有機圧電フィルムを用いたセンサデバイスの開発について共同記者発表が行われました。

このセンサデバイスは、株式会社村田製作所により、10月4日～8日幕張メッセで開催された最先端 IT・エレクトロニクス総合展“CEATEC JAPAN 2011”にも出展されました。

化学生命工学部 石川 正司 教授の研究が 10月6日 日本経済新聞 11月2日 半導体産業新聞 に掲載されました。

「電気自動車、数分で充電—関西大と日産、基礎技術開発—

(日本経済新聞：右)

「太平洋電池・新エネルギー 実用なるか次世代蓄電技術」

(半導体産業新聞：左)



化学生命工学部 大矢 裕一 教授の研究が 10月17日 日経産業新聞に掲載されました。

「金ナノ粒子、自在に配列—DNA使い 数珠つなぎ—



速報

平成 24 年 1 月 23 日(月)、24 日(火)

第 5 回研究会(パネル展示)・第 16 回先端科学技術シンポジウム 開催



先端科学技術推進機構が 1 年間の研究成果を広くアピールする「先端科学技術シンポジウム」が開催されます。今回は、先端科学技術推進機構設立 10 周年を記念したプログラムをご用意しております。本振興会も、平成 23 年度第 5 回研究会としてパネル展示で参加いたします。

先端科学技術推進機構の研究員の先生方によるこの 1 年間の研究成果に触れる絶好の機会でございます。会員の皆さまのご来場をお待ちしております。

(詳細は後日お届けいたしますパンフレットをご覧ください。)

振興会のホームページ

<http://www.kansai-u.ac.jp/ordist/sinkokai/index.html>

関西大学 HP からサイト内検索で「振興会」を入力して下さい

ASCIKU 関西大学科学技術振興会

Associative Society for the Collaboration between Industries and Kansai University